

2026 ALL JA8 コンテスト開催要項

* ご注意ください*

- ※ 10代の参加者に対して「奨励賞」を贈っています。詳しくは要項の10をご覧ください。
- ※ 紙によるログ・サマリーは、記入項目がすべて手書きであり、交信局数が100局までのログのみを受け付けることとしています。
- ※ ログ提出締切日までの期間が従来より短縮されている他、入賞者への賞状発行の電子化を原則とするよう変更されています。

1 開催日時

6月27日(土) 21:00 ~ 24:00 および 28日(日) 6:00 ~ 18:00

2 参加資格

日本国内のアマチュア局およびSWL(アマチュア局の電波を受信する個人をいう)

3 使用周波数

1.9MHz~10GHz 帯のJARL主催コンテスト使用周波数帯による

4 参加部門および種目

種 目	道内局		道外局	
	電信	電信電話	電信	電信電話
シングルオペレーター オールバンド	HW01	HX01	GW01	GX01
シングルオペレーター 1.9MHz	HW02	HX02	GW02	GX02
シングルオペレーター 3.5MHz	HW03	HX03	GW03	GX03
シングルオペレーター 7MHz	HW04	HX04	GW04	GX04
シングルオペレーター 14MHz	HW06	HX06	GW06	GX06
シングルオペレーター 21MHz	HW08	HX08	GW08	GX08
シングルオペレーター 28MHz	HW10	HX10	GW10	GX10
シングルオペレーター 50MHz	HW11	HX11	GW11	GX11
シングルオペレーター V/U/SHF (144MHz~10GHz)	HX12		GX12	
マルチオペレーター オールバンド	HX21		GX21	
SWL	HX22		GX22	
チェックログ	CHK			

※個人局と社団局の区別はありません

5 交信方法

(1)呼び出し

- ①電信の場合「CQ JA8 TEST」
- ②電話の場合「CQ JA8コンテスト」

(2)コンテストナンバー交換

- ①道内局: RST 符号による相手局のシグナルレポート
自局の運用場所を示す北海道振興局ナンバー
年代別符号

振興局ナンバー

宗谷 101 留萌 102 上川 103 オホーツク 104 空知 105 石狩 106 根室 107
後志 108 十勝 109 釧路 110 日高 111 胆振 112 檜山 113 渡島 114

- ②道外局： RST 符号による相手局のシグナルレポート
自局の運用場所を示す都府県コード
年代別符号

<年代別符号>

(年齢=符号=得点)・・・ (~19 歳=A=1),(20~29 歳=B=2),(30~39 歳=C=3),(40~49 歳=D=4),
(50~59 歳=E=5),(60~69 歳=F=6),(70~79 歳=G=7), (80~89 歳=H=8),
(90~99 歳=I=9),(100 歳~=J=10),(マルチオペレーター=M=1) ,(年代の非公表を希望する場合=X=3)

道内局の例) 電話： 59106D 電信： 599106D 札幌市・45 歳の場合
道外局の例) 電話： 5910D 電信： 59910D 東京都・45 歳の場合

6 共通規約

- ①北海道内で運用する局は、国内アマチュア局との交信が有効
 - ②北海道外で運用する局は北海道内で運用する局との交信が有効
 - ③コンテスト参加の目的で常置場所を離れ移動運用する局かつシングルオペに限り、運用開始時のマルチプレイヤー内の運用場所変更を認める。
 - ④その他交信上の禁止事項はJARLコンテスト規約による。
- ※ 「コンテストガイドライン FAQ」も参考にしてください。

https://www.jarl.org/Japanese/1_Tanoshimo/1-1_Contest/CONTEST-Q&A.htm

7 得点およびマルチプレイヤー

- ①得点はコンテストナンバーの交換が完全に行なわれた交信により得た年代別符号に対応する数値とする。
- ②同一バンドにおける重複交信(同一局との 2 回以上の交信)は 0 点とします。
(注)電波型式が異なる場合の同一局との 2 回以上の交信も重複交信。
- ③都府県・振興局ナンバーの数をマルチプレイヤーとするが同一バンド内での重複は認めない。
- ④年代別符号はマルチプレイヤーとならないので混同しないこと。

8 総得点の計算方法

- ①シングルバンド：
(当核バンドにおける得点の和) × (そのバンドで得たマルチプレイヤーの和)
- ②オールバンド・V/U/SHF(144MHz~10GHz):
(各バンドにおける得点の和) × (各バンドで得たマルチプレイヤーの和)
- ③SWL: ②の計算とする

9 書類の提出

- (1) 電子ログによる場合 ※集計作業の軽減と誤りの防止のため、電子ログ提出にご協力ください。
 - ・電子ログ提出の場合は、JARL 規定の電子ログフォーマット(R2.0 または R2.1)に従いテキストデータを作成のこと。
 - ・「CTESTWIN」等のコンテスト用ロギングソフトを使用することをお勧めします。
- (2) 紙ログによる場合
 - ・JARL 制定の「サマリーシート」および「ログシート」(または同形式のもの、A4 判)を使用し、必要事項を記入して提出する。
 - ・紙によるログ・サマリーは、記入項目がすべて手書きであり、交信局数が 100 局までのログのみを受け付けることとする。(将来的に電子ログのみの受付に変更することも検討しています。)
 - ・ログシート及びサマリーシートの様式は、次の JARL ホームページ「CONTEST」のページからダウンロードできます。

https://www.jarl.org/Japanese/1_Tanoshimo/1-1_Contest/summary-sheet.pdf

https://www.jarl.org/Japanese/1_Tanoshimo/1-1_Contest/logsheet.pdf

- ・郵送の場合は、サマリーシートとログシートは必ずA4サイズで用紙左上を一カ所留めること。

(3) 記入内容は種目に応じて、次のとおりとする。

- ・マルチオペレーターは、全オペレータのコールサイン(コールサインがない場合は氏名)を備考欄に記載。または、一覧表を添付のこと。

(4) 提出締切日 2026年7月8日(必着)

(5) 提出先

①電子ログによる場合:

JARL 北海道地方本部のホームページ(<https://jarl.hokkaido.jp/>)に、ログ提出専用サイトへのリンクを掲載します。リンク先にある指示に従って、JARL 規程の電子データフォーマット(R2.0 または R2.1)で作成したデータを入力して提出してください。(コンテストに関する問合せ専用メールアドレス allja8@jarl.com にデータを送っても受付されませんのでご注意ください。)

②郵送の場合:

〒082-0051 北海道河西郡芽室町東1条南7丁目5-8 正村琢磨方 JARL北海道地方本部 宛

10 賞

①道内局と道外局に区別して、各部門・種目に参加局数に応じ賞状を贈る。

○10局以下1位のみ、○11~20局2位まで、○21~30局3位まで、○31局以上5位まで

②青少年の育成を目的として、青少年(10代、符号A)の参加者に対して「奨励賞」を贈ります。青少年の参加者においては、サマリーシートの備考欄に生年月日と年齢を記入すること。

③入賞者への賞状は原則として電子発行(電子メールによる送付)とします。郵送希望の場合は、サマリーシートの備考欄に「入賞時賞状郵送希望」と記入すること。

11 失格事項等

①提出書類等がJARL制定のものでない、または同形式のものを使用しないもの。

②提出書類等が不備なもの。

③2部門、または、2種目以上に書類提出をしたもの。

④その他、JARLのコンテスト規約に準じる。

12 結果発表

JARL NEWS 秋号(場合により冬号)と北海道地方本部ホームページに掲載予定。

13 その他

・沖ノ鳥島、南鳥島、硫黄島は小笠原の区域とします。

・他エリア局の北海道での移動運用は「道内局」として認めます。

・コンテストの使用周波数帯は、SSBにおいてLSBの場合は下限周波数、USBの場合は上限周波数です。周波数の逸脱にご注意ください。(https://www.jarl.org/Japanese/1_Tanoshimo/1-1_Contest/Contest.htm)

・コンテストやログ提出に関するお問い合わせは、北海道地方本部のホームページに掲載します。

・個人情報の利用について

JARL 北海道地方本部は、個人情報を取得した際の利用目的の範囲内でJARL 北海道地方本部の実施するコンテスト業務遂行(集計・審査・賞状発送)のために利用する。